



地域企業と学生との協業による 新商品開発



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科/マーケティング論、人的資源管理論、アメリカ労働市場論

佐藤 飛鳥 SATO Asuka

准教授、博士（経済学）

1. 研究内容

マーケティング論・人的資源管理論のゼミに所属する学生が地元企業の新商品開発に携わる。マーケティング理論を用いて、企業との協業により実践的に商品開発を行う教育的側面を持った研究である。県内企業に限定し、コラボ企業の食材や素材を元に、学生のアイデアと斬新な発想を若年層ターゲット向けに発信し、販路の開拓を目的としている。さらには県内の産業同士を結びつける役割を担い、経済波及効果とネットワーク拡大効果にも期待している。



2. 地域・産学連携の可能性

- 過去のコラボ事例は以下のとおり（コラボ近年順）。
- ①南三陸ホテル観洋、台湾からのインターンシップ学生と本学学生によるホテル・お土産及び日本文化紹介映像作成。
 - ②海の子.net、あたまっこかきのブランド名提案、紹介映像作成。
 - ③㈱アロマコロジーなかじま、紙絵の具新用途開発、描きやすいチューブとケース、ラベル作成による入門キット作成。
 - ④（農）水鳥、しいたけジャム等、家庭用・高速サービスエリアで販売するしいたけの新レシピ開発。
 - ⑤ディル・セ・おながわ㈱、女川カレー BOOK の販路開拓、同封するレシピの提案とレシピブックの作成。
 - ⑥㈱高浜、鶏塩おでん、新商品及び宮城県名産コラボのギフトセット提案。
 - ⑦炭焼きはらみ専門店福光、店舗調査、新メニュー、サイドメニュー提案。
 - ⑧ワイケイ水産㈱、骨抜き魚の消費拡大のための若者世代へのレシピ提案。
 - ⑨有川口納豆、納豆を使用した新レシピ開発、タレ味選定 など。



執筆論文

「地域企業との連携による PBL 型新商品開発マーケティング」『日語教育与日本学研究－大学日語教育研究国際検討会論文集（2014）』pp.216-220、2015年5月、華東理工大学出版社。



マーケティング、新商品開発、販路開拓